

問い合わせ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

監理課専門官 成田 誉孝

電話 022-363-0111 (内線2511)



平成26年4月17日
第二管区海上保安本部
午後0時発表

測量船「天洋」による釜石港の測量について

今回の水深測量により、釜石港全体の水深測量が終了します。
震災直後の測量は、釜石港の岸壁及び航路付近を優先的に実施しました。

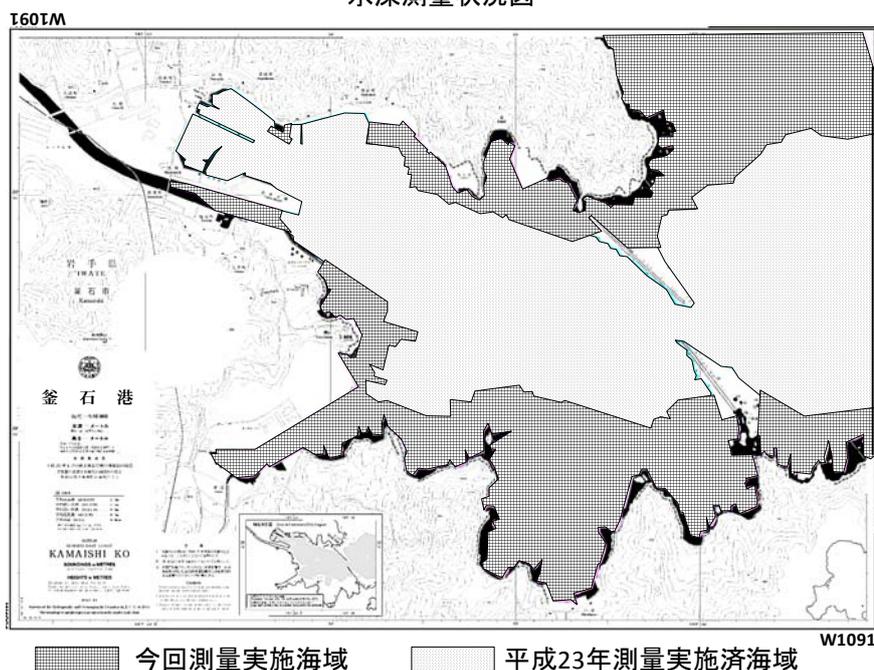
第二管区海上保安本部では、被災した港湾の早期復旧のため計画的に水深測量を行っています。

今回は4月19日から5月4日まで測量船「天洋」（船長西村浩一）により、釜石港の水深測量を実施します。

震災直後に行った水深測量（平成23年4月～6月）では、主要な岸壁とそこに至る航路周辺を優先的に行いました。これらの結果は、すでに海図に反映（平成23年10月刊行）させています。

今回の水深測量により釜石港全体の水深測量が終了します。今後、これらの結果をとりまとめて釜石港の海図を最新維持します。

水深測量状況図

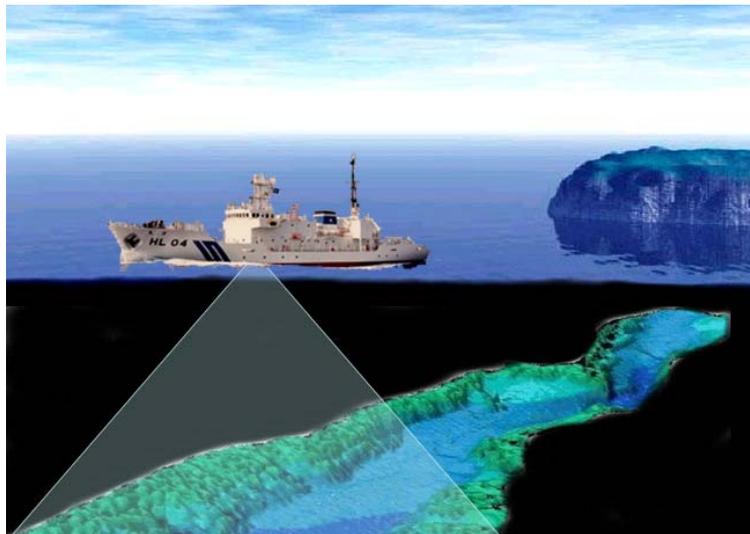


測量船「天洋」の概要



- ・ 総トン数 430トン
- ・ 主要寸法 56×9.8×5m
(全長×巾×深さ)
- ・ 速力 約13ノット
- ・ 航続距離 約5,400海里(約1,000km)
- ・ 主要観測機器 マルチビーム測深機
投下式水温計
超音波流速計

マルチビーム測深機による水深測量



船底から多数の音波ビームを発振して水深を測る機器で、船の進行方向に対して帯状に海底の地形を把握することができます。